

協賛企業賞

生き物の絶滅をふせよう！

高輪台小学校 富田 妃咲

地球上では、ありえないスピードで絶滅が起こっていることを私は全く知りませんでした。昔の絶滅は、ある種が減り、別の種が増えるのつみ重ねでしたが、今の絶滅は、ある種が減り続けているのです。アメリカではオオカミが絶滅して草食獣が増えすぎたり、日本でも、鹿が増え農作物や林業に被害が出るという例もありました。

このように絶滅のスピードや絶滅のしかたが変わってきているのです。その主な原因は人間の活動です。人間が動物をつかまえたり、住んでいる場所の森や川、山などをよごしたりしているからなのです。

絶滅危惧種になっているのは、動物だけではなく植物やこん虫にも絶滅危惧種があるのです。例えばイヌフグリ・オニバスなどがありました。また、植物の絶滅の理由はたくさんあります。「森林伐採・池沼開発・河川開発・海岸開発・湿地開発・草地開発・道路工事・水質汚せん・農業・園芸採取・踏みつけ・管理放せん」などが原因だそうです。原因のほとんどが、人間の活動です。

今では、メダカやホタルなどが大切に扱われている様ですが、つい最近までは普通に見ることが出来ていたようで、その当時は当たり前に見ていたので、絶滅危惧種になるなんてだれも思わなかったと思います。

また動物の死がいが土の栄養になったり、植物が動物の栄養になって、助け合うことを、「生物多様性」と言います。自然の豊かさの元になっていることが、この「生物多様性」で、生き物を絶滅から守ることは「生物多様性」の保全につながります。

私は、生き物の絶滅について調べ、絶滅の主な原因が、人間の活動だったことを知り、おどろきました。昔の絶滅と今の絶滅は、同じ絶滅なのに、生き物が絶滅するスピードが全くちがって、このままではいけないと感じました。絶滅危惧種が、「ほ乳類：五種に一種、鳥類：八種に一種、両生類：三種に一種」もいます。それを止めることが、出来ないのかと考えました。

そのためには、ゴミを減らしたり、地球へのダメージを減らしたり、省エネを心がけるなど、私達に出来ることがたくさんあります。調べた所によると、動物の絶滅危惧種は、なんと約百三十二種もあるのです。

この絶滅危惧種の増加スピードを止める為に私が出来ることをどんどんやっても出来るだけ減らせられる様に、努力していききたいです。それに、周りの人達にも声をかけて、出来ることをどんどんやってもらいたいし、もっと絶滅危惧種に、目を向けてもらいたいと思います。

これからも、絶滅危惧種について調べていき、出来ることを考えて取り組んでいきたいです。そしてこれからも絶滅危惧種だけでなく、環境についても調べていきたいです。